

外科書上

一

外科ノ元ヲタツ子テ曰藥ハ天アリ理ハ猶同シ藥ノ成ス所ヲ
 知テ腫物ニ焦スルヤウニ遣ハ聖人ノ德也、聖我為ニ藥オラ
 作テ予フ必ス藥之性ヲ知ント不可思、只能藥オラ取テ腫
 物ヲテ、其オラ能覺事早シ一味ノ心ヲ知テツカワント思
 ハ患カナリ寒腫ヲ執大茶ニテ能スルト思モ患也、熱ニテ熱ヲ
 能シ寒ニテ寒ヲ能スル事一道ニ不究予四拾年ノ自諸
 國ヲ修行メ病人ニアタル事一カニ過タルカト覺去死キマメテ
 外科之心曾ム不覺或能ト思ハ患ク成ル患ト思ハ五日不知
 平愈ス何ヲ得之事ヲナケクニ巧有人ニソノ有覺事ヲ



語ラセ其シリエニ氣ヲ付テ少心得タリ然ルニ外科ハ其仕
掛ノ道ヲ聞ラ元トセスハ難成物ト氣ヲ付テ數年治スル所ノ
仕掛ヲロニ書出ス藥ヲハ天下ニミチククタリ只治スル所ノ
仕掛ヲ朝夕エマメ可見事第一也

一切ノ事ニ流義我ヲ立ル内ハ修行ノ内也タトアル阿蘭陀流
之内之ヲ某ヲ能所計取り理モ同ク取大明流ノ内モ取物ニ
應スル所覺テ吾物ニ遣ラ自由ト言一代某ニツカワレテ
廻ル其道ニ暗ニ長崎ハ阿蘭陀ノ外科元也然ルレ珍キ
腫物ニ掛リ療治應タル外科ツイニ不聞藥ノナラス所ハ

日本國ノ外科ニ下チモ上チモナキ也然レハ某ニヨル物ニハ
アラスカリソメノ物ヲ妙業トトニテヨクスルハ藥ノスル所也
此ワケヲ安ホルニ能師傳ノナキユナリ師傳ト云ハ一切腫物
之仕掛也只仕掛ヲ習テ藥ヲ後ニ習事ニ氣ヲ付修行
有レシ洲言所ハ外科初有古有テ少心上ノセシギ也カリソ
メニモ巧有人ニ其賢キ道ヲ聞テ自エ支レテ心ヲハタラク
也クリカエシ此道理ヲガテセスハ成難キ物ト知レシ
一肥後熊本喜右衛門ト云者十四年ノ間悪瘡ヲ煩不治
病性兩足カニ立事不成面ニ赤キ瘡成口少キ出性ノ

有是ヲ皆三病ト云見之療治スル性瘡毒也則山歸來
 二十六日用テ治ス 右外ノ仕掛ハ筋延也 筋ノ一仕
 掛ハ 一レヤキ草 小菱花 各一斗宛
 コロハ 杜仲 各十斗宛 竜眼肉五十斗
 柳葉世目 水五升入四升ニ煎シカニタニ所ヲ
 煎タニ草ヲ湯平ニメ過メ身ノアツク成呈ムスナリ其
 後又クイトリ其上ニ油蘇ホヲ塗スル
 一土ノ油 琥珀ノ油 野菊油
 右三色過メ平ニテスリ付其上ニ膏葉

血花膏
 一ラレコロシヨ 玉明膏
白腦膏
 テ(シレイフシ

右三色等分ニセ木綿ニノ(廣クメ付ル其上ラハリ
 木ニテハルハリ木拵ヤウハ擲ラ六七寸ニヒラク両ロラカ
 トノナキヤウニコシラエ直綿ニテ包足ノカニミラハリ木
 綿ニテイクエモ巻シテ直如此毎日仕掛ル也汁筋延ノ
 仕掛他家ニ不傳之可秘也右ノ山飯来五寶丹也
 一 同國永井五右衛門ト云士股外ニ腫物出シ十八年不治
 腫物ノロ寸四寸間ヲ直ニ所也外ニサントララ付内五寶
 也

一 右ノ腫物膿白黒百ワタノコトク成物有リウニ切入アホスハシ
リコシワタニ人付九折々凡シモクサニテヤクフタサントテ廿四
日ノ内ニ治ス

一 筑後柳川田之尻新右衛門ト云士足膝ヒサノ下ヨリクルフニテ
ニ穴四十五有ル腫物廿四年不治

右仕掛上ラ毎日心ノ及呈ニ三百モ四百モ久カラメ片ハシヨリ
ヤフルフタ高川菜サントラ本綿ニ延奉、毎日右之仕掛内菜
五寶貝丹三十六日用テ其内ニ腫物平愈ス有、殺回ノ曰
カ年不治外科内性ノ療治六拾人業ニ掛リ不治又悪性

ノ腫物四十日ヨリ内ニ治ス道理聞タキトノ事也予曰成口土
姪キ腫物也其謂ハ廿四年足内ニテ替ル有ナク足タスニ
テ有也只汁ヲハラカ成ニ依テ也口ハ有ニテモ内ハニツ
セ皮肉ノ間ヨリ口明タニ腫物故サテ上ノ皮ヲ灸ニテ燒取
内ヨリ山歸来葉用治ス是ユズ也ト言

一 廣嶋ニテ甲平左衛門ト云士痔ラ十二年出シ不治肛門ヨリ一
寸脇ニ穴五ツ漏ノ性也仕掛ノ事サ日呈ノ間メイテヤニアホス
ハシリヲ合サシフタニサシトララメヒタ物膿ヲ抜其後赤膏
膏ヲカメク子リコヨリノヤウニメ中ニ入毎日取替五回呈ニ

一度宛水ツキニテ洗業ヲ以テ洗イ取替々々療治メ六十
四五日ニ治マシ療治惡食房事ヲ堅ク一年ツシニ子ハ本
ノコトク成モツトモ酒モ同シ

一 同國ニテ宮内家人六名患ツト云者足ニ風毒出生メ治テト
ナゲ出シ足ニ成ル長崎ニ来リ阿蘭陀ニ廿日掛リ不食
飯國ス我是ヲ療治ス

一 仕掛ハ前筋延ノ仕掛メ十五日其上ニテ高サ一尺呈ニク
ラカケノヤウニ上ラ九ク足ヲノスルヤウニコレラアテ足ヲ其時
ヨクアタメテ是ニセ向ニキニリヤウノ重リ五ツ掛テラル折

時ニ病人ノ舛ニニ人モ押シカハリテラユサヌヤウニスル一度
ニトリカケルタリクニカクレハ痛出病人カニニ十又ズラルト
夕入氣付用テ其後右ノ洗業タシクニカケ同シ如此ニテ
四十日ヨリ内ニ収氣ス此療治江戶ニテカスハルイタシタルニヨ
リ予モスル此仕掛除事ニアラス凡腫治メケイ不通ニテカ
ム事ナラス由見ノ直ニ成タルニアラス思フヨリ心易キ療
治也

一 京都ニテ凡亀喜右衛門ト云者此ヲキ内ニテ所負治メ
二年成年カニ指モカハム右竹物延ノ仕掛ニテ四十日ノ内

テ本ノ手成右之心ヲ破千人ニ同意也

一 京都ニテ源光院殿御面ニ疔出御年ニアタルトカイニ出
腫上ル慶庵法吊ニ療治被仰付五巴草之入タル疔ニキ
付ルト一時ノ内ニ痛出執甚有之ユ上ニ某ニ被仰付去
竜膏一付ニテ痛止念息事五六日也此分ノ痛腫アルニハ
常ニ是ヲ付テ右ノコトクセ

一 京都ニテ道作法下疔出ス外科ハ奥田好庵法ヲ年七
拾ニ腫物出生ヨリ十三日コラ不明痛熱有之法白皇様
ヨリ某ニ被仰付四日ヨリ内ニ治ス療治仕掛右ノ書ニ

有ル通也其内内薬ホノカエタルト人夫多ノサレ引レタル巧
ト成ル天下ノ大醫ナレ氏腫物ニ成ハ時ラレサレナリ爰ニ
書出ハ此ワケヲシラセシカタメ也

一 京ニテサ四五ノ女ウレロニ腫物出テ穴ニツアリ腫物ノ間ニ寸
五分呈呈通テ三二粒ニ穴アリ穴ノ深サ六寸七寸呈メイチヤサ
ス七年不治京中ノ内外ニ掛ルレカレトセ不愈息某療治ニ
テ五十日ノ内ニ治ス療治仕掛ハ十四五日ノ間ハメイチヤソサス
メイチヤサアホスニ自散ヲ加サシフタニサントラ付其後
ニ善ヲ腫物ノヨリヒロクアテ内ニアタニリノ通スルヤウニ

灸ヲ二十呈メ亦石ノシカケニシテ灸スル事七八日其内
某五寶丹ニ廻リ用テ治

一 此腫物ノラコリ八十八年ヨリニ糸殿勤氣ヲ誥有時トコトナリ
氣分悪鋪ソコト熱モ出頭痛ツヨク日廻年足冷煩醫
見之補某ヲ用ルト後腫出口明石ノコトナリ可意得
一 京ニテ青地甚右衛門ト云者下疳治メ骨痛成テ一年年足
ナエ立居ナラス内外数人某用ケレモ少モ不良是ヲ請取
二十四ニタラス收氣ス一七日ヨリ内ニ痛止外ヨリノ仕掛ナレ内
某計也氣論云云廻リニテ如石外ヨリシカケナキ所書出ス

又

一 淀杉野清允衛門ト云士目ノキワ鼻トノ間ニ核トシ皇腫物
山々口明膿出事一合呈メイチヤラサスニ三寸呈入メイチヤ
某如常フタ膏某サントラ如此メウニモソコトヤニ二十四呈
ニメキヤ一寸呈ニ成テ膿ノ色赤色ニ成テ愈心見エ腫物前
八月モ不見腫物口明テヨリ見エ出明ニ成然モイチヤ
一寸呈成テ不愈心一年後山飯来某一廻リ用見
ルニ成呈キヨシ亦用三廻リニテスキト愈心此腫物類ナキ腫物
ナリ凡痔ノ性成リト後ニ全差裁ス

一阿波ノ者サカヤキト面ノサカイニ極星ノ腫物出果不明事三
年石ノコトクアリテ赤ク有タルト云サテ口明テ後國テ色々
療治シケレモ不治京ニテリ數人ニ掛ケレモ不治某ニ見ス療
治ノ仕掛深サ六七分モ可有綿ニアホスハシリ合丹入是ニ
テ肉ヲ上ル事十日計也フタニサントラ如此アレハ愈モナカル
ヘキニ六七十日ニモ不愈安ニテ成ニシキト思ヒジタイシケ
レハ是非ト云石杉野清ヲ衛某弟子分ニ成タル故ニ不
成テ語ルニ清左衛門カ曰親ト石杉ノ服カカヤウノ腫物ヲ出
ス如石愈兼事六年然ルニ有出家ノラレエケルハ味

噌ヲ敷灸ラシ毎日アタニ九ロメ見ヨトラシヘケレニシケレハ三十日
ノ内ニ愈タルト語ニヨリ則此病人ニモ灸ラサ日余シケレハス
ラノト愈ル是ハ思フニ某ハ次ニメ只仕掛成ヘシ能ク可
工丈

一池亀中納言殿ニ瘻出ル時初ニ某ニ被俵付出ル時ヨリ腫
物ノ廣サ四寸余ノタイラトル其時某甲ハ此腫物大切ノ
事ニ相見エ作間成間敷由達テ断ケレ是非仕様ニ
事故掛ル成呈輕キ瘻ナレニ躰大キニ見ル故白人ハアフナ
ク見ル也此コトクノ腫物ハ中呈成腫物廣ク成ヨリ大事

トテ外科醫之事有也。醫サセ又々メカダヨリシ名イヌル此心入
常ニ入事也。也右ノ腫物三十日ヨリ内ニ治ス不替腫物十
レ氏心ノ千立ラ言シタメ記ス

一 武刃切テ帛屋九右垂ト云者身内ニ豆ノコトクノ小瘡出
内外三十人モ掛リ療治スル呈瘡フトリ腫熱心モアリナヤ
一 ス是ラメカサヒ云瘡瘡ヒ云ウルシニケヒ云某ニ掛ル
五川ニ平愈メ金子十兩得ル

此瘡ヒセシカサ也内ヨリ色々ノ業用外ニ及效メズキク大
豆ノコトクナリ業ニテ頌是ヲ見付テスリ業ニテスラセニ

旧目ニカレテ瘡ノヲタフトテ上ニ浴タレ四合呈術ヲ見スル輕
事ニテ重キ様ニ成業料思外ニ取タル是カ真ノテカラ
ユエ書出ス

一 石川又四郎殿家来年四拾七八ノ男士ノ經瘡ヲ出ス此腫
物初ヨリ四寸呈ニメ身色ニメ痛ナリ出生ス此出ル時ノ前々
灸ラメ愈ヘテ十月呈ノ後杉本忠急瘡ト云西元南瘡毒
ト云坂本養庵火毒ト云イツレ七不究某見スル瘡ト
イハハ木林雪仙瘡ニアラスト云某日火毒ノ火瘡出物
也子細ハ灸愈テ瘡出ル時ハ常ノ出生ニアラス氣ノ

涕ニ灸メ其不足ヲスグニハラカヌ是灸瘰癧物也トイエ
ハカテニヤス井上玄哲被見タシクノ事開瘰癧ト云外科ニ
頼ヘシ子細ハ去年ノ冬大補湯ヲ一廻當春七廻玄哲
テヨリ用タルニレリ必補藥地黄ト用ト瘰癧ヲ出ス物
也トイワレ某ニ頼某療治セズ子細ハ病人常ニ好色ノ由
聞殊ニ血性ノ瘰癧物故如石後灸テ益取掛リ腫物口咽
四日月ニ死右ノコトハリラシラシメシタメ記ス可エ支

一 伊勢杉本吉大浦女房足凡毒瘰癧出治メ子ハ成十三
年後某ニ掛リ十三年月アレタラハキタルトテ悦ケ療治

右筋延ノ仕掛シ内業不用メ治ニ是改記ス

一 伊勢カノ者下海ヲ煩ケ性満欠トテ何呈ノ療治ニモ不
治外科四五十人ニ掛リシタイニ大ク成鈴口ノ脇ヨリクサレ
出後ニ椿ノ花ノコトク成ラ治一七日ニ治テテハカギ某也
先ニ記ス

一 亀井能登守殿前ノ廻リニ七年腫物ノコトク腫女モ不
痛色々外ヨリシカケアレモ平愈セヌ有時長崎ヨリ
来ル阿蘭陀酒ヲヒタト用痛出色赤ク成佐友度庵
療治口咽五日余不治某ニ牧野圖書語ル某申八十五

因ノ内ニ平愈ノ療治有ト云則二日後ヨリカク腫物上仕
掛赤膏山飯来ニ廻リ用テ治ス本輕キ性故曰テ治
ス重キ療治ノアトハシヨキ物ト知レシ此性溢火ノ性也ニツ火
下疳ニ出ル時ハ治ル事難ク外ニ出ル時ハ皮肉ノ間也可
工支

一武嘉ニテ年四丁計ノ女腕ニムクロミ呈ニ色青ク出腫灸時
ハヒタ物笑フワラウ事身モタエ八計也其跡痛甚アリ内外
サツレケレ氏難治見之何ノ性氏ワカラス名ヲ付タル内
外モナシ河ヲ意ニ諸ハ血塵ト見ル性ナリ成呈ツヨクア

タメテ見ヨト云外科メリロウトラレヨロシヨ恰チ付テモ不
通工夫腫ノ上ニテ毒ヲシキ灸ヲ十四五レケレハ立所ニ上珍シ
キ性故書出スレ療治理ノナラス所也

一長崎今石原町ニ次郎丸衛門氏者股ヲワカレ前道喜療
治テ治ニ其跡腫テ二尺三寸廻リアリ自休自庵自仰長
共衛何モ而日而五十日呈療治シケレ氏ラス見立何茂同
翁温補ノシカケムニ某色ケ也某見立所ハ温補トカ又ユエニ
テラス右腫ノ上ニ一所テシラサシ其夜十一所ニ六而ス又明日寸ヲ
取ニ三寸ハ如此六川ノ内ニ二千八百ス又内某調榮湯用テ三

年ノ上病者十五日ニ付其セズ治スル此療治温補外カサレ所見
立ル計也

一松平或部太輔殿腫物シリバズ穴十一有江戸京國リ外科六
人余療治シケレ氏不治其三十六日ノ内能ス療治ノ事瘡毒
ノ尻蓮故心易シメイチヤ如常フタ膏其サントラ内菜五
寶丹三廻也右サントラニベアリ此論永ク成故不書一切ノ腫
物時分ヲ見事第一也口傳

一松井玄仲氏醫者足^{トノ誤}下リコノフシ其アタリ腫物出八年不
治内菜ノ事ヲロカナラズ山飯来モ四十斤用ト云其療治ニ十

日ヨリ内ニ平愈サスル

シカケ毎日上ラマキクツシ西内皮氏ヤキヤフリサントラニテ治ス
内菜ヲヨクノミコミ居タル人ニテ次ノ取イエカ子イタル

一柳屋次丸衛門下人後カタノアタリ五六寸リ升レ五六年ノ間

自庵一年半自他一年長兵衛門二年ホト其後次丸衛
療治彼是五六年之其見スル其日内ニ可治氏次丸也曰

唐^唐人ニ見スルニハ腫物一代治スル物ニアラス醫者書ニモ右ノ通

某曰ハ腫物大明日本ニ平愈サスル物ナクハ外科ハ不入物之
理那事ハシラス今何ラニアテモ治スト云テ則大塚権丸衛門工

サレツメ三十日内ニ平愈ス療治シカケ上ラ一面ニヤフリフタ
膏菜ハサニトラヨケレ氏権在也巧メヤレホノ油ニ苦瓠入
子リ合凡不入極ニス療治毎日如ケメ右ノ自教ニ治スケ心ラ
双一切ノ療治可有エ事也大才覺タ九計書記ス余ノ家メ
ツラシカルニシケレ氏ケテオハスイフシ心ニ及呈ノ療治ニリ馬
テリテハエマア九物之ケ上ノエマヲハケニニ有療治ニ

五宝丹方

一鐘乳石 三分 辰砂 三分 琥珀 一分五厘

冰片 上同 珍珠 一分半 琥珀 一分半

ウドケコ

右十二包成呈細ラロ

山飯来一ロ百目水大キ成天目ニテ

一番ハ五入 四孟ニ 二番ニ 四孟入 二孟ニ 三番ニ

四孟入一孟ニ 煎ニ

右ノ粉菜一包ヲ空服ニ煎タ九一孟ニテ用其後ハ山飯来

討一ロ吞切

禁物

酒 酢 辛キ物 油物 青キ物 臭臭ノ類
茶 房事 堅ク 凡別事 凶

一汁方瘡毒トキハニリタル時用ル方之

五牙丹

一琥珀 二分五厘 竜胞 口上 辰砂 一分五厘

童乳石 上同 真珠 童半 飛白 一分五厘

右粉ニメ十二貼ニスル

一飯来ラ一日ニ四十日大キ成天目ニテ水一番四孟入三孟ニ

番ニ五孟入二孟ニ三番ニ五孟入一孟ニ煎け一日吞粉

茶ハ一日ニ一包宛 禁物石ニ曰

以方無名ノ年久愈兼ムル瘡毒ノ屍蓮ニ用也瘡

毒カレキニ用ル

五宝丹

一鐘乳石 三分 琥珀 五厘 珍珠 童半 冰片 一分

辰砂 一分 飛白 三分

右粉ニメ十包ニメ一日ニ三度宛

一山飯来 十分 杜仲 五分 黄連 五分 黄芩 上同

地 黄 一分 川 芎 一分 大 黄 一分 甘 草 一分

右山飯来一ツメ一番ニ六孟入三孟ニ二番ニ六孟入三孟ニ

番ニ五孟入七分ニ煎け一日ニ用物

川芎ニ多ク 杜仲ニ多ク 其草ニ多ク 山飯来ニ多ク
右ツニ刻ニ十貼ニ十日用

煎様中ノ天目ニテ一番ニ三盃入ニ盃ニ二番ニ盃入ニ盃
ニ番ニ盃入七分ニ十分一日用 禁物右同

氣驗方

けす瓜の十工好物千ニ不自由成ニ用

一古キ麻ニ多ク 牛膝曰石見川曰紫朮曰茯苓曰
井草ニ多ク 山飯来 百日

右セツニメ七日用煎様禁物右同

氣驗方

けす瘡毒滞リ目ニ入又ハ身の痛ニ功性ノニ又腫物乳

岩ニ用

一當飯ニ多ク 芍薬ニ多ク 川芎曰地黃曰黃連ニ多ク 黄

芩ニ多ク 杜仲ニ多ク 枳實ニ多ク 紅花曰肉桂曰陣

皮ニ多ク 其草ニ多ク セキコクニ多ク サイニ曰人參

ニ多ク 山飯来一斤 右セツニ分七日用

煎ヤウ一番ニ四盃入ニ盃ニ二番ニ三盃入ニ盃ニ三番ニ

盃入セツニ十分一日用 禁物右同

カギ菜子

けず瘡毒成テモ下痢ノ内ニモ用口傳多ク之

一人参ノ三分五厘 辰砂一分下 ウワウー一分下 ハマ子一分下

沉香一分下 百草一分

石粉菜ニメ七本ニ長サ六寸五分ニ一四二本ニ度ニカゾカゾ
時ニ口ニ水ヲクワエヒタモノカエテカリニカリ内ハカエハカリ食ス

金瘡振菜子

銅棠湯氏

疔ニ血ノトマリカ又ル時ハ四物湯ヲ合テメ用

人參 川骨 けニイロラ先ノ六色ノイロイル

當飯肉桂 黄芩 川芎 白朮 其草 け六色ラ

先ノ四色ノイロイル 大芩 圭心 木香 芫連

右ニ色四イロノコトクアル時は四色ニツラメ香色ニイル

口傳

一 是ヨリ某使覺免膏菜子

牛黄膏 カラサテイヤ

一 黄蠟 罌目 松脂 口 野牛油 口 杉脂 目 乳香 子

フタ油 子目 右ハ右フタ膏菜子之熱寒片ニ散ス痛ヲ

上和也 凡各膏 テヤバル

一 蜜陀僧百目 並名イ 日野牛油 四十目 夕油 四十目

明九柑目 白蚘 五十目 油 百目

右フタ膏 菜之痛ヲ止 赤身針ナト 踏込名ニ長

白胞膏 一ニシイブニカスル秘方 他方ト違リ

一 案檀 十あみ 口ウザ油 十み イバラ花 廿目 生胞 三み 夕フノ

突油 十目 白蚘 十目 乳香 十み 油 廿み 野菊 花 十み

右カタク 疎フタ膏 菜筋 延ヨク 痛止 腫ヲテラスニ

一切散ニ 痛ヲ止 筋引ツル下ニ 筋安ノ 油上ニテヘニシイフニメリ 口ウツラ
レコロシヨ 等寸 分ニ合付

血花膏 一ラシコロシ白

一 莫 蚘 廿目 松脂 廿目 キリニ血 十み 夕フ 廿目 紅花 十み

胤モ十 突 廿目 一ウサキノ 突 十み 松脂 廿目 モツヤク

日油 八十目 代葉アギ 五あみ 水目

右カタク 疎フタ膏 菜筋 内痛 腫赤身 筋骨ヲ和ケ

一切ノ痛ヲヤハラケ 腫物ヲ引上ルニ長

玉明膏 一ゲリジウ

野牛油 代ニ鹿ノ油ト牛油ト等寸分ニ合キ 鹿ノ油計モヨシ

一 並名 異十あみ 白蚘 廿目 生胞 三み 蜜陀僧 廿目

唐ノ土 十あみ モツヤク 三み 玉乳香 一 日 野牛油 廿目

油 卅目 右フタ膏 菜一切ノ腫物ノ痛ヲ止 散ス

丹身モスチノク夕合テ再之

三虎膏

景按ニサントラニイヨ也

一モツヤクアキ 乳香 一ふキリ血ニハ 阿仁葉一ふ
ハラヤ 一ふ 子ツミチノ突廿月 青木每木五枚
木香 黄柏 沉香 地黄 犬黄 黄蓮 白芷
川芎 サシレ、モクシ 黄芩 芍薬 ケニシニ 當歸
肉桂 人參 各あみ 丹三百甲目 白油孫ス
右棟様口傳有り

白虎膏

一白蠟 十あみ 土唐ノ土卅目 フタノ油一ふヤシホ十あ十リ

あみ 燒ガシテイワウノ粉ソロクステヤリ
後水ニ五日呈ヒタシイワウケ取

竜胞一ふ

白油廿月 け高用ヤハラカニ子ル

赤竜膏

一黄蠟 四十目 红花 一あみト 金錢重樓 三あみトウニ

黄栢 一あみト 其松 一あみト サシレ、あみ バクケ 青牙 二あみト

燒 返明凡ノ粉ニあ ゴバイレニあ 白油ニ合

右一ツニヤハラカニ子ル口傳

二香膏

桃仁一ふ

一 丁子十ふ 丁香皮 肉桂五ふ 芫花 蛇胆油 罌目
右 礫ヤウ 油膏 月菜ス

ハシリコシ

一 芫花 蝮 十月 子ヤシ 日 松脂 五 油 而 辛 日

石ヤハラカミ子ル

ダツカウ入ル方

一 香附子 子み 五倍子 子み 明凡 五 二ふ

右 成 呈 コニカニメ

一 ハツカチめニ水 疎 ぬ 合 呈 入 蒸 出 ン ン 出 々 脱 肛 ン

洗セシタルハツカニテムスホトニメ其後右ノ粉 茶 示 子ノ内ニタシ
トモチタツカウヲニギリヲレコム病人入ル時イヤカレカニハス
ヲレコニテレハレヲサエテ其跡ヲ和成キ又ニテ一日ヲレツケテヲ製
旧トメ灸ヲスル 肛門ヨリ亀ノ尾サキヨリ一寸五分上ナエ
テ右ノ寸ニ三折ナニ宛ス元之け方脱肛ヤクワシ呈ニ出テモ灸ニ
真妙ノシカケス

一 脱肛出テツヨク痛イロウ事モナラ又呈ニ有時々海ヤニ示

一 ツ刺大ニク^{火ナルベシ}ケムリニテムス則止痛止ト右ノシカケス

一 凡毒腫散ス方 石膏 燒カエシ茶 一 フクホトハ 魚ノ

汁茶碗半分呈右ノ粉菜入鳥ノ羽ヲ刮シ散ス事真
妙

一 便毒下シ大芫子 芫連日ソハノ粉ニホ

右粉菜ニ夜ニ入酒ヲ一度用

一 折身菜 アイノカス 山ノイモホ分

右スリ合弁タル時は菜アツク付フタニ紙ヲヨミカニヒキ
サキ付ル如汁ニ三度モスルニ一度ヲナラセモ有け才骨
折レテアテモ痛止ナラセ

一 ヒセン瘡ノ方 生ノ大芫 天目ツノワヲナメニツク

右ツキ合テ油ヲ煉合古キ布ヲ包瘡ニ付テ付テ
用ハテテラキ其明日白水ニテ行水スル又明日塩湯ニテ行
水スル

一 腰氣洗菜方 五倍子 枳壳 兵部 各ナメ

右水一斗五合呈入テ煎 芒硝五ふ入テ右湯氣ニテヒタモ
ノムレ湯ノサメキハ洗ス

一 ヤケトノ菜 油貝ニハゴベラ一盃入黒燒ニ粉ヲ山ノイモ
ヲ子リ合テ付大キ成ヤケトニハ白虎膏ニ付ルヤブレテ
汁出ルハアヤク粉ヲ付馬油

一 小便ツリニシラニ妙茶 雨路ノカ又蜂ノスラ黒燒茶一
服呈食ノトリ湯多用 ウツボ草ノカケテ煎用テ良
サントラ膏ヘソニハル内茶 補中益氣湯
一 産前産後療ノ事

一 難産ノ見様母^舌黒ハ死ス又母ノ舌ト唇青キハ母子死ス
一 難産ニテ不生横子逆子腹ノ中ニテ死タル子或ハ後ノ物不下
其時用テ 一ツハク大牛膝中木通小志小ゴ白皮大
右如常煎用

一 後ノ物下ス方 ^{ウツボ}ウツボ ^{モカ}モカ フクリウカ ^{クワ}クワ ^ワワ ^{セキ}セキ

右粉茶ニメサ湯ニテ茶一服呈ラタヒクニ好ル

一 産後血ヲサヘラズ腹痛ニフルイ有ルニ用テ

當飯地芫芍薬川芎人參干姜赤芍茯苓多クニ
各ホ分右如常煎用モレ血ツヨクトナリカタクハ蒲萸^{ワラ}
ラ香色ニメ加

一 懐人傷寒頭痛吐逆疾ツヨキニ用

白朮陳皮人參前胡川芎茯苓 ホク

右如常煎用

一 女ツワリ不食カラエツキレ小便ニ血夾リ心ウレシムニ用テ

茯苓 地黄 當歸 川芎 白朮 黃芪 芍藥
干（二枚） アキヤウ 各等分 煎用

一 右血カタリ積聚ニ成タル時ノ方

當歸 芍藥 地黄 莪朮 川芎 三稜 官桂 カニレツ

右等分 如常

一 白血長血ニ用テ

三稜 芍藥 桂心 丁香 子ニ分テ 川芎ニ分テ 芍藥ニ分テ 如常

一 右血下ニ用テ

牛膝ニ分テ 牡丹皮ニ分テ 紅花ニ分テ 蘇朮 白桂心 干姜 白朮 右

如常

一 産後血不下 腹ニ堅リ 有り 痛出テ 立クニ 有ニ 用テ 芍藥

山茱 當歸 白朮 白芷 厚朴 干姜 川芎 黃芪

右如常

一 數年古血不下 血振イ スルニ 用テ 莪朮 三稜 各天 青皮

半隻 青芽 各中 大麥 花女

右粉ニ 糊テ 酢ニテ 和テ 煉合ゴ 三呈ニ 丸一 度ニ 五十粒 宛サ 湯

テ 一日ニ 二度 宛用テ

一 産後アト 腹痛ニ 夕エカタクニ 用テ

當飯于姜川 芍药 香附 兵部 茯苓
肉桂 甘草 各おふ如常

一 産前産後常用方

小麦ヲ六月土用ニ焼酒ニ蓮ノ葉トヒタシ一夜付テ置取
上テテ黒焼湯ニテ酒ニテ茶一服呈宛用

一 日黒焼茶

赤キ大口奥カゲテニメ但一尺余魚赤サゲニ日川膏ヲ
甘草一両 右日黒焼ニ常用ニ用祕方

一 是ヨリ小兒療治ノ方

凡年ノ筋肋ヲ双見ルトアレモ明ニ見事数年ノ巧アラレハ
ナリカタレ只ヤウスラ見又ハ聞事ヲ返テ茶ヲ用カ

一 小兒凡氣痰性ニ用方

下子 干姜 桂心 木香 良香 甘草 各小
白朮 中兵部 大吐 噤ニハ 藟 白梅 加用ル

一 五疳振茶

木香 下子 藟 香 独活 クニロリ 沉香

甘草 當飯 各おふ 石灰 砂子 豆 四粒 毒ヲ取

右物ニ包シフリイタシ用ル

一 小児乳ヲアニス時用方

下子 蓮肉 石留皮 右半分ニメ粉ニテケシホトニ丸

一度ニ十粒 宛サ湯ニテ用

一 小児目ノ中ニレワヨリ来ノ粉ヲケラレタルヤウニ有時鮑

カラノ壳所ヲ成呈細ニメ目ニ入ル水ニ立テモ洗之

一 小児大人凡ニ用下シ薬ノ方

巴豆 一兩毒ヲ取 下子ニ五分 大黃ニ五分 生地黃

ニホ泉ニテ 右粉ニメ丸薬ニスル 小児ハ一里 大人ハ一里 十粒宛サ湯ニテ用

五香散方

藿香 乳香 丁香 沉香 甘草

一 小児疱瘡 ニホ テカイミアルニ用方

紅花 山抱子 莪 兵部 黃連 陳皮 香附子

右同煎用

一 疱瘡出テ熱シカハク時用方

木香 人參 白朮 甘草 白茯苓 葛根

石煎用

一 疱瘡出テ色変シ惡鋪成時用方

人參 當歸 芫 敗川芎 防風 桔 白芷 厚朴 甘草

各本分肉桂女 右九葉香汁木香紫檀ラ煎是
テ一度ニ十粒宛 ● 呈九メ

一 小児凡引ツリケ出タ九時又ハ常ノ時性シレス煩ニ用方

紫蘂 香附子 陳皮 當歸 耳草 白茯苓

右煎用ケテツカイヤウニヨリ神妙有

一 小児大人ニモ用

赤龍丹ノ方

人參 ニ分 クズノ粉 ニ分 毒ヲ取テ香 ニ朱 山 ニ 日

兵部 ニ分 茯苓 ニ分 梔子 ニ分 角 一分 蘇麻 ニ分 日

菊目石 ニ朱 牛黃 ニ朱 香附子 日 井草 一朱

桔梗 ニ分 竜腦 ニ朱 夕イ 一井 辰砂 一兩

金伯 一枚 銀泊 一枚

右粉ヲ蜂蜜ニテ煉菜ニスル

一 坂ノ下トテフクヒヤウヤニ用方

鐵石 ナカ 硫黄 ハカ 葛粉 チカ 芫花 ホ 枳實 ホ 陳皮

蒼朮 百子朴 各セカ 井草

右粉ニメ ● 呈九一 日 六十粒 三度ニ湯ニ用ルヨリ

一 六君子湯用ルニ

一 肺氣ニ用方

生地黃 熟地黃 杜仲 牛膝 黃芪 當歸
甘草 茯苓 各五分 人參 一分

右ノ藥ヲ燒酒六合ヲ三合ニ煎一度ニ用之ハ方大切
ノ方

一 三五味ノ方

芍藥 白朮 當歸 川芎 香附子 人參 桔梗
黃芪 白芷 白朮 茯苓 生地黃 各五分
沉香 五分 井草 木香 一分

右粉藥ニメサ湯ニテ用煎藥ニモスル産後千員之
氣付ニスル之但香附子ヲ大黃ニ代エテハ根葉ノ秘術湯也

一 口中ノ藥 乳香散

乳香 三分 帛ニ包打碎女焙リラケハ子ハリ出ルヲ
ハシラケハカハラクヲ鉢ニテ成呈細ニスル

芍藥 三分 明凡 三分 ヤキカエシ 丁子 一分 生地黃 三分

スコシアフリテ目ニテコニカニメ右ノ藥トセテラロス

細辛 三分 泉 三分 夜付キサシカアフル 辰砂 三分

一 右粉藥ニメ又ル之

一口中ノ薬方

寒水石 三分 ヤク石 羔 三分 ヤク其学 三分 至 青黛 三分

芡 連

三分

辰砂 日

棚砂 五分

竜腦 五分

右成呈 細メ便瘡毒ノ性ニテ口中腫痛或舌ヤ

用

一 鼻タケノシカケ

鼻タケ 初出タニ時丹凡ノ燒 逐ニラ粉ニメ鼻タケノ

根ニ付一時計後コヨリヲ入 卷付ヤ引扱ハ仕掛真神

妙ノ巧アリ

一 川眼洗薬

石葛蒲ノ根 和大芡 桃仁 各五分 明凡 一分

如常蒸熟サシテ目ノホトリ一寸呈ヨケ洗ハ眼ツラレテ

モ痛有内ハ治スル

内薬ハ敗毒散良

此覚書 他見他言 有回敷者也 傳他家ニテ悪キ所ヲ

イハレテハ師ノ恥也 門第必心ヲセハクメ療治アヤウニ

蟹ハ甲ニ合テ穴ヲホルワレハは書ノ内ニテ自由ヲスルヲ

另成事ヲレラセヌ内カ命也可秘

阿蘭陀**袖藥**取樣秘傳油一卷書

祐明
松井甫庵

是之次
津田木陰

是之次
田名玄春

一子相傳其後火中

Faint handwritten text in the left margin of the right page.

Faint handwritten text in the left margin of the right page.

Faint handwritten text in the left margin of the right page.

Faint handwritten text in the left margin of the left page.

Faint handwritten text in the left margin of the left page.

Faint handwritten text in the right margin of the left page.

Large area of faint handwritten text in the main body of the left page.

油取様之次第

（油ト云フ）
ツクリヨニアサト云

保田
油仕也

アガサノ實ノ油ハ先六月土用ニ實ヲトリテ縣留月五十日ニ古酒
 々ヨクニ一ツ入カキ合一日一夜至明日ニ亦一ツ入テ四五日モラキテ
 而ハントヤん五粒ニ月加一夜至一ツ入カウカヨナズニ蒸酒ノ香少
 モ無之時布ニテヨスグフラスコニ入口ハリテ七日ラキ可仕フ
 野菊ノ油ハ花懸月一斤ニ酒能加減ニシテヒメシ十五日ラキ其後
 保留登加苗ニ十日加テ如前蒸テ仕シ

（油ト云フ）
ヨカモイルト云

（油ト云フ）
ラハリヨロサロト云

○南花油 茨ノ臺ラ去リフラスコニ入アセトナノ油見丸入フラスコラヤメシ

アライゲノ油ハ花卯月十五日ニトリテ保留登加苗ニヒメシニ
 ツテテ古酒ヲ加紙ニテ口ヲ能ク張テ至四日目ニアケテゴイ

ドロニ入りテ不綿ラキゴゴト不蠟ト松脂ヲワカシカケ取弁

皮ニテ包ニテ不ノソラニツリアマツ通サヌヤリニテ百日通シ

取取出シカウカヨ 鋸ニテ蒸布ニテコシツウヤ也

（油ト云フ）
ツクリヨイヨト云

白ニリノ油ハ花ノ懸月一斤ニ古酒ニ合ニツケ之日之夜置テ保留

登加苗之段入其後蒸テ布ニテコシツウヤ也又油入テ二日目ニ

蒸シテモ吉

○白百合花ヲ取登ノカヨリ五分ホト置キ 鉄切去ロウサノ油等

一 ^{南蠻イゲシ} 只ウザノアゲラ日前

一 花盛る吉

一 下キリ草ノ油ハ土用ニ花ヲ取懸日四夜日ニ保る釜加留百目

一 古酒取入七夕ニテ七日置シ油入テ一日メニ又花之後入七夕目

一 下キリ草ノ油ハ土用ニ花ヲ取懸日四夜日ニ保る釜加留百目

一 沈香ノ油ハ細ク申サシ保為堂ニシメシ能ク煎出シテモ吉ニ

ケシメシコトクノモトニ

一 此ノシメシノ油其佐刻粉ノ保為堂加苗ニ浸シ能包テ風ノ

タラサシヤリテサムシテ布ニシメコシヤスラ去シ

一 竜腦ノ油者茶碗ニ密シヌリテ竜腦ヲ入スリ又密ヲ入加

減メシメト摺合ホントサ加其佐シムニ

一 生肥ノ油ハ口茶ノ内ニ初ヨリ密ト油ト等分ニ合テ仕シ

一 秋之本ノ油ト云者アハクヲトリ刻ニ保為堂加苗ニシメシ浸テ

十二日置皮コカニ襦為布ニシメシ月

一 口秋ヤニノ油ヤニ取テホントナニ見合入煉テシメシノ代葉ニツク

一 松ノ油ハヒキノ能クハニスアトスルヲ細末ノ保為堂加苗ニ浸シ

テ七日置細香ノウセニテ蒸シテ取シ

一 秋ニテノ油モ如此スホウロリニツ内ニ入下ニ●是襦ノ穴ヲ

ケテ其下ニ茶碗ノスケテソクト火ヲ可燒ジメシノ油イテ

ハ穴ヨリツクテ出シ

一 沈香ノ油モ此傳スシ右加様ノ類ハ何モ如クシテ去

一 葉ノ本ノ油ハアハクヲ掛目四十日古酒五十日ホルトカニ百々ニ色

一 ツクテ日ヲヤケテ四日メニホウヤケ葉ヲツクテ五テ入テ十二日

ス菓テ蒸フシ用シ他名ノ油仕入貯テ子モ之 肉桂五ト細末ノ加
一 久年母花之油ハ掛目ニ取ルニ古酒或夜心保為登ハナクセ
ラケリアセ内ニ浸シ日モテ蒸出シ華之色香色ニ成時
ニ酒ノ香モ去バ布ニテ濾仕シ

一 蜜柑之油 右日前

ワノミノ油ハ香色ニケリテ押ツテシテ保為登加為ニ浸仕也
テ可取也ナ油ノ如シ
ワノミヲ日乾粗皮去肉ヲ取ホノ錫炒袋入朴木ニ
ワタリヨロウライ子 黒ツタノ蜜油

一 大凡子ノアブウケリテシメトリニスベシ

一 赤甲トモウノ油保為登加為ニ浸テシメテトシ

一 カイロノ油ハ蒸ホハヌリモナニ入フタシシテ置一吋ニ見シ白
リヌニベシホントカニテ仕仕シ

一 蛸之油ハ山蛸 一方焼研ニテ土氣ヲ洗乾シ其後アセトウナノ油ニ入酒ヲ加錫ニ入微火ニテ
掛目六寸目水ニテ能洗テ古酒ヲ四夜ニ入
葉酒氣ナク成時布ニテ濾シ使

一 一日浸保為登加為百五夜目入蒸仕シ

一 狐之油ハ皮ヲ去骨モ肉モ切込テ水又ブクト入油浮ク程
蒸シツカヤンホノ還テウチニ油ヲスウケテ水水氣ナク
蒸仕シ四足ニ足ノ油取様何シモ如此シ

一 土ノ油ハ能フエタニ土ヲ取アウチセリケリ後ニ土五十目煉金保

一 質登加為百目入一セロ還テ蒸布ニテ濾用

一 隙珀ノ油者能スキトシリタニ隙珀ヲ粉ニ五十月係ル者加

留百取後ニ今コタ五も入テ十日置テ布ニ干海ワツフ今

テハブトウ酒ヲ代ニツツフシ

一 サシゴシエ之油モ右同前

一 タコハコノ油者エノアブラニ同前

一 メウバシノ油モ同前

一 セウヤラハホントカニ浸シセ日置テ布ニ干海其位

一 シツタサリ同前

一 魚ノイノ油何モニト成

口傳アリ

一 玉膏ノ油モ皮ト手足シ去リテ肉バカリヲチラウ釜鍋ニ干蒸

タニ油ヲ取テ亦蒸ツヤリ

一 若奴何ニ干モ保留者加る浸テ古酒カ家ニ令加嗽ノ蒸

右之油能毒ニ受

一 アカサノ油

血ヲ散シ痛ヲ止腫ヲヘラス

一 野菊ノ油

血ノ不通ニ付テ苦痛止愈也下ニ苦

一 ロサロシハ

(血ノ無通不ニ付テ苦身シビレヲボヘテキホニスリテ木綿
ニ干可差各節腫タニ取ニスレハ痛止腫ヲヘラシ愈)

一 白ユリノ油

(血ヲ去リ腫ヲヘラシ愈シ湿ヲ去テ肺氣脚氣ニヌリテ
若金瘡ニ若能物ヲ愈也)

一 ロウザノ油

(右同前一切ノ腫物大夏ヲ可知ニハ油ヲヌリテ見バ大夏ノ物
ハ油ヤウキナク可成大夏ナキモノハ油ワキテニエヤエナラニ成ゾ)

駒引草ノ油 (痛ヲ止腫シラヘラシニツラサリ愈スヤリ少兒ノクサリイニ妙)

コアラノ油 (疵ノ油音能愈スクサリタニモノ、泡ニ可引キツコワバリヲ知ケヤケドニ吉也)

白ツノ油 (汁有ル物ニ音凡腫ノハシラヘラシ痛甚タニキニ吉ヤタニリヲ知ケん)

蓮葉ノ油 (一切ノ腫物腫シラヘラシ痛ヲ去愈シ湿ヲ散シラハライラナク腫ノ難引キ凡腫ニニ妙)

ヲトキリ油 (一切ノ痛ヲ去疵痛腫難引、疵ヲ能クヤシヨバリヤワラケテ灸瘡ニ吉)

イノント油 (湿瘡腫ニ任シ腫ヲヘラシ痛ヲ止物ヲ愈シイノントホメキヲ治ヤ脚氣ハ助氣ニ吉妙油)

ウイキヤリ (イノントノ能ニ日有)

丁子ノ油 (痛去腫消シ温メ血ヲ通シ膿ヲ後キ愈ス)

沈香 (疵ノ痛ヲ止メ愈ス)

ビケシタノ油 (腫ヲヘラシ愈ス)

竜胆ノ油 (痛甚シキ腫シラヘラシ愈疾痛ホメキニ吉火毒ヲ去シ灸瘡ニ吉天蛇毒ニ吉)

熊之胃ノ油 (右日有)

六香ノ油 (下痢ノ腫ヲ消シ愈ソラハツ痛腫シラヘラシ能愈也)

枚ノ油 (膿ヲ吸惡肉ヲ切能愈シ腐シ行リ物ニ吉)

口脂ノ油 (テレメンノ代ニ任能モノライヤス)

松ノ油 (腫ヘラシ膿ヲ吸愈腐ヲ止テハゴエヲ能ス)

枚ヒテノ油 (右日有)

桑本ノ油 (腫ヲヘラシ疵ヲ愈痛ヲ止メ血ヲ通シ腫物ニウレシイヲナシ中凡ノバヤニ類成吉湿去)

久年母ノ油 (癩ノ痛ミクサレ腫ヲ止メ虫ヲヌカサス色悪キニ付テノ吉男女ノ手足キメ悪キニヌリテ吉不断ヌルハカエラ能ス

蜜柑ノ油 右日前

ナシノ油 (血ノ無通色アリクヒエラホヘテ中ホニ付テ吉ホウサリノ色悪ニヌリテ吉タメレシ吉)

ワノ實ノ油 去痛愈汁先立愈兼ハ物吉難愈草燒ドニ吉

大楓子ノ油 (古瘡クワシ愈兼或者之病ニテアソコククワシ腐入り念兼兼ニホ小兒ノ髮瘡ニ松ノ油ト生肥サ加可有ノ氣タエ愈)

赤トシボウノ油 右日前万ニ吉一切ノタシラ能スヤケドニ吉

アイルノ油 腫ヲ押去痛執ツラサシ天蛇毒ニ妙を愈也

蛭ノ油 第一天蛇毒ノ痛ヲ去腫ヲ消シ能右日前

狐ノ油 (去湿冷テラホヘテトコロ吉中凡ノバヤミノ難成キ所ニヌリテ可笑カレシん)

狸之油 第一腫ヲへし止痛温メ愈ス

ヤキリノ油 痛ホメ中ヲ去リ吸愈也

フタノ油 吸テ能愈ス痛ヲ止メエラヨウス知成油アリ冷テラボエナキ所ニヌレシ赤髮ノシホラ能シアヤラ後シシヤヤハシテ色ヲ能スむツヤヲ出しシヤラフキヤラニモワシユエニ煉ヤ也

猪油 能愈シ痛ヲ止吸ハモ右惡症シサガス

ウシノ油 物ヲ能愈止痛瘡ヲ去リ能愈惡症シサガス

鳥ノ油 うち中ホメ中ヲ止愈惡症ヲ去リ腐ヲ止メ上皮膚ヲ生ス火毒ノ痛ヲ止メ良也

木ノ油 中風難叶所ニヌリテ血ノ通ラナシ冷タム知ラアタメハル

ウチ中ノ油 小兒草氣ニ吉其效腫ヲへし火毒ヲ去兼瘡ヲ愈ス

猫ノ油 (氣腫ノ色ヲナラシ腐ラ止ムニ痛クブレ急兼ニ赤
瘰癧ヤブシムニ急スゆ々久中程ヨシ)

子スシノ油 能右ノ前ホム中痛ニ若筋ノビザンニモ吉シ

テシノ油 諸ノ痛ヲ止ム急ス

土竜ノ油 一切ノ腫物ヲ急シ腫ラ消痛ホム中ラ去血痲急シ

エノ油 (熱腫ニ任シラフアホム中ラ止痲ノ腫ヲへラシ右ノ外色
赤クハシ痛ニ赤ハ多毒ノ痛難止ニモ吉)

コハクノ油 万吉第一痲痛止急其外何ニモ効

サシゴシノ油 (右ノ前一切ノ腫物痲ノイエテアトノ色去リ
中ラ多ク付テをぬぐ一カモ)

久コハシノ油 (此痛吸急古瘰癧クエ入久シク急兼惡肉ノキヤ多甲ニ
効シ其外ヤラシカク付テ急一夜ニ切シ去ん)

メウハシノ油 (右ノ前丹藥トホ分シメ凡毒ノ痛止リ兼急スイ分痛ムニヌリ
テ可美ニホクサリ深ク入ヤラシ久シキ草ヲ兼ホホ分ノ可付シ)

石カウノ油 万ノ腫ヲニスリテハ腫シラへラシホム中ラツク止ム
イヤスモ毒クサツンガサ便毒トドニムンベシ男女共ニ
面ノ瘰癧亦ハ日長腫ニテ面腫色赤ク痛ムニヌリテ
ヨシ

ミツメサウノ油 (万ラ能急スシラシラト下腫ラへラシ下痛便毒
ノ破テ急ヤラシモ吉効)

クモシノ油 (一切ノ腫物膿氣痛ニモムシヌリテ可ハ腫成テ
吸フ久シク付シハ諸腫物アトナク)

フカノ油 (右ノ前能急ス赤痛右魚鱗是ニ色ニ松脂ヲ入テ能煉
語テベツクノ代ニ任フ口傳)

ス、中油 腫ヲへラシヤス

コイノ油 惡症ヲナラシ腐ラ止ムヤス乳若乳瘰癧乳腫赤腫
痛ニ能効)

ハエノ油 止痛急草氣ニテ氣けヌズ出んニ効シ
右ノ前上カハラ生ズル也

アユノ油 乳腫一切ニ吉ウツクホム中腫痛ヲ止ん

エノ油 (下疳痔破し腫痛ニ苦腫。ヤイノウタ袋ノ如クニ成テ
難クニハクノ油竜胆ノアブラヲ加テ勻シ)

クマノ油 湿ヲ去クニナリテ和テ痛ヲ止ム

ハモノ油 筋ヲ和テ痛ヲ止ム

ニスノ油 (万腐ヲ止メ腫ヲ吸イ流シテワキホム中ヲ止メシビシ冷
テラホヘテ所ニロヲ浴湯ニテ洗イヌンベシカ)

人油 疔痛コワバリテ和テ腫ヲ消止痛不腫愈シ

カニノ油 (疔和テ愈中凡。ノバカ、ミノナリカクテ中ナ
血ノ通テ能ヌ)

カモノ油 右日前

ニハトリノ油 右日前

ヨシコ鳥ノ油 (ヨシコ鳥ノ油) 疔ヲ能イヤスクワコヲ入ル

トナカメ高都ニテスツツトニ
イシヤノ油 右日前 疔疔古疔難愈吉シ熱腫ニヌリテ
熱ヲサニス

川セウジノ油 (疔疔ニテトワタリノイコノウワリテ痛ムコニ
テ吉。無キ時ハコハクノ油ヌンベシ)

クマノアブラ 血ヲ止疔ヲ愈セ

カラスノ油 (冷々ん所ヲ温メ筋引ツリノビヤクテ和テ血ヲ
通ス痛ヲ止能愈腐ヲ吸テ愈ス)

キシノ油 右日前 瘡毒難愈エ

ヒバリノ油 血ヲ通テ和湿去愈好シ

ウヅラノ油 右日前

ツハメノ油 (カクニリテ和テ湿ヲ去リ腫ヲヘラシ愈ス疔疔痛
ヲ止)

クマノ油 中風之無覺時亦者冷シビシスル所ニヌリ可卷

ワレノ油

同前能痛止カヌ一リヲ和テ腫ヲ消シ万吉

ワレノアブラ

口若氣腫ニテ穴アハ黄汁不断出んハ

ラウノ油

一切ノ腫物口明テ腐入止ラサレラ止テ腫ヲ消シ

コエントロトモノ油

一切ノ腫物痛ヲ止メ方カウ菜ニ合テ仕ヤ疵ノ

ミイラノ油

一切ノ疵ウツキホメキヲ止メ亦ハ打傷ノ痛ヲトメ

人カニノ油

痛ヲ消シ或ニアヌエテしんし有ぬ万吉

ラウノ菜

諸ノ腫疼キ止メ愈專金瘡ニ若男セノ面ノカ

ホルトヤン

一切ノ膏菜ニ煉仕シ万ノ痛ニホムキ血ヲ散シ

テシメシノ油

右日前能吸膿ヲ流腐ヲ止ム

ウミヤシホ油

金瘡ノ痛止メヤヌニリヲ和テ愈ス小兒ノ腹ヲ

ハブテコブラ

一切ノ毒虫ニサシ咬シ痛腫不引ニ水ニテソベ可

ウニヤウん

毒ヲ消下ニ昔ハブテコブラニ日前ノ野鼻血ヲ止

ヘイタラバサん

右日前万之解毒外仕テハ腫止痛止ル

熊鷹ノ油

一切ノ腫物金瘡ノ冷テ痛スクバルヲ和愈シガツ

乳膏之油

一切ノ腫物痛ニ甚メホメ難愈ニヌリテ吉

没薬ノ油

石口若吸イ腐レテ止愈スカヌニリヲ和テ吉

花之水

魚ノ肉ヲ能シ男ノ年足面ニヌリテツヤヲ出シハダエラ

鹿ノ油

膿ヲ吸イ瘡ヲ止愈ス妙

アゼタキスノ油

（疾キホム中腐ラ止腫シラヘラシ能愈ス膏草合
テカニツカフナリ）

生肥之油

（疾キホム中腐リ有ニ付テ膿ヲ流愈スにゼン瘡
ヲ能ク湿ラ去）

巴豆之油

（瘡リ切シカホム中ニヌリテカラミコキウミラ拂テ
止瘡シ）

ヒシノ油

（日若ニ色等分ニ合万之口明キカホム中ニツケロラ開キ
膿ヲ吸也）

アゼタウサノ油

（万ニ吉何ニテモ久シキ疔氣腫ルイ其外腫ラヘラシ
和テ止痛ヲホム中ラ去止瘡肉ヲ生万ニ吉也）

ラツトセノ油

（疔腐リ痛ヲ止愈皮ヲ生ス金瘡初ニム已ニ一切ノ草氣瘡
氣腫物冷テ痛ニ中凡ノ節バリ痛ニ凡腫ノ痛ニ止ミカ
タキニ妙ナリ古瘡破下瘡腫テ赤成痛難止キ破血
血ノ疔ニ女人前損シムルニ）

川ウソノ油

（能右ノ前濕腫ニ仕也濕氣ヲ去カヌテ腫ラ和ラテ節氣
脚氣ナユスルムニ女人ノ腰痛コト有を妙シ万ニ吉）

虎肉ノ油

（万ニ吉血不通ニ患ク冷テ無患ニヌリテ可巻持
ノ痛止愈サラシテ濕深物ニ吉妙）

アカコノ油

（三病面損色悪此ニ成テ腫或者クヅシ手足ノ痛切カリ
テ腐リ難愈ニヌリテ止瘡愈ス一日ニ三度アテ妙也）

白コノ油

右ノ前也

男於五歳ヨリ之疔氣近之者生肝ヲ取テ油ヲ仕テ万ニ吉又陰干ニ

末メ仕シ是モ之病ニ用如前也男者女ニ用女者男ニ用是妙也

男ノイニシラ切油ヲ取テ女人ノ下疔ニシハ何程クツレシサシキトテモ

能愈を金瘡ニハ猶以妙也

陰門クリヌキ油ヲトシテ云
セノヒツリ取ニワ五分外ハ黄ハニシヤケテクルル也

唐瘡下疳便毒瘡未二三年或者

四五月之及骨痛腫し痛むハ

草解 百二十日 連翹 一匁 木通 口 桑白 七分 白せ皮 二匁

芒角子 口 牛膝 一匁五分 大黃 二匁 山梔 一匁 忍心丸 口 甘草

右掛合拾四貼二分二七日之用 煎法 一匁ニ水三盃入一盃半

入一盃ニ煎 三番ニ水四盃入八分ニ煎用但第一服ノ煎様

亦方

黃連 一匁 芩苓 山梔 一匁五分 川芎 當飯 芍藥 一匁七分

忍心丸 二匁 牛膝 二匁 防風 口 苛薺 一匁五分 荊芥 五分

苦辛 一匁 甘草 三分 山梔 一匁 煎様右口煎

下疳瘡妙藥

阿仙藥 白水ニ七日七夜サウシ 經粉 一匁五分 廣香 五分

辰砂 二分 右末ヨ可付妙

阿蘭陀秘傳ノ瘡切ノ妙方

能毒 一切之瘡氣中凡或凡毒咽咳ニ卷コ正重クノニト痛ム

子コカシ瘡切シテキニ付ケ男女民虫毒亂ニ其外

氷砂糖 三十日 乾姜 三分 白蜜 四十日 人參 二匁 檳榔 口

丁子 五分 良香 七分 熟地 二匁八分 甘草 三分

